

令和元年度 第2回定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

【日 時】 令和2年2月6日（木） 18時00分から18時50分まで

【場 所】 苫小牧市役所 9階会議室

【参加者】 定住自立圏共生ビジョン懇談会委員（11名）

清水 祐一、笠原 健太郎、塚原 光博、小坂 幸司、櫻井 裕子、吉田 章、
内藤 圭子、荒舘 康治、田中 弘美、高坂 美哉、小林 裕子

（欠席：加藤 務、千葉 勝宏、丹羽 智久、木村 徹也、高津 均、大宮 丈治）

苫小牧市

総合政策部長 木村 淳、総合政策部 参与 町田 雅人

政策推進課長 山田 学、課長補佐 佐藤 敦史、主事 松下 文也

厚真町 まちづくり推進企画調整G 主任 岡橋 篤志

安平町 政策推進課 主査 笹山 陽平

むかわ町 総務企画課 政策推進G 主任 野村 昌史

白老町 企画課企画G 主事 金子 智勇

胆振総合振興局 地域創生部 地域政策課長 主査 森 浩平

議 事 内 容

(1) 開会

(2) 総合政策部長 挨拶

(3) 議事

①東胆振定住自立圏協定の一部変更について（自治体クラウドの導入及び管理）

【資料1について事務局より説明】

委 員：いつ頃から開始予定なのか

事務局：厚真町が現在使用しているシステムの契約満了に合わせ、令和3年1月から開始予定と
なっています。

②東胆振定住自立圏共生ビジョン年次改定について

【資料2、3について事務局より説明】

委 員：新たに結ぶ協定は費用削減がメリットなのか

事務局：各自治体の重複投資を避けることによる費用削減や災害発生時に同様のシステムを利用
することによる業務継続性の向上がございます。

委 員：多くのデータを管理することになるがセキュリティは大丈夫なのか

事務局：各自治体による管理よりもデータセンターによる管理の方が厳重であり、費用削減によ
り、その分これまでよりもセキュリティ対策を強化などが可能となります。

委員：K P Iとはなにか

事務局：重要業績評価指標のことで、実施事業に対してどれだけ取り組んだかという数値のことです。

委員：ふるさと納税共通返礼品についてはいつから開始予定か

事務局：ふるさと納税共通返礼品は1市4町のお肉で検討を進めており、それぞれどの自治体から申し込みをしても同様のセットが届くというものです。現在準備を進めており、令和2年3月中の開始を予定しております。また、東胆振地域ブランド創造協議会で作成しているスープについても冷凍化を進めており、配送が可能となれば返礼品として追加を検討してまいります。

委員：ふるさと納税共通返礼品の基準は問題ないのか

事務局：こうした近隣複数自治体での取組については総務省の示す基準に該当するため問題はありません。

委員：分野ごとのK P Iについて、66.7%のものが2つあるがなぜ低いのか

事務局：1つ目の移住・交流については、圏域で移住フェア等に出展することをK P Iとしており、各自治体での出展はあるもののフェアの選定や予算獲得など圏域での出展が目標数に至らなかったものです。2つ目のその他の結びつきやネットワークの強化に係る連携については、インターネットによる発信媒体数をK P Iとしており、平成30年度末時点では66.7%となっておりましたが今年度に新たに1つ追加いたしましたので、現在は100%となっております。

(4) その他

(5) 閉会